

# ときめきスマイル

2020年 5月号

2020年5月4日発行  
いばらきコープ総合企画室  
〒319-0102 茨城県小美玉市西郷地 1703

フリーダイヤル 0120-160-231

ホームページ ▶ [いばらきコープ](#) [検索](#)

## 組合員のみなさまへ

いばらきコープ生活協同組合  
代表理事理事長 鶴長 義二

日ごろより、いばらきコープの事業・活動にご協力いただき誠にありがとうございます。また、この間の商品の欠品などでご迷惑をおかけしていること、深くお詫び申し上げます。

現在、日本ならびに全世界では、新型コロナウイルス感染者の急速な拡大により、感染するかもしれない、また生活がどうなるか、そしてどう行動すればいいかといった不安が広がっています。そのことで、人々の気持ちも平常心が保てなくなり、ストレスを抱え、冷静に判断したり行動したりできなくなっているのではないのでしょうか。私たちは、根拠の無い情報やSNSなどの噂などに惑わされず、冷静に正しく判断していくことが求められています。

まず、感染に関する不安は、国や各自治体から出されている宣言や呼びかけに基づいての対応、特に密閉、密集、密接の「三密」を避けること、手洗いの励行やマスクの着用などが感染リスクの軽減につながります。自分が感染しているかもしれないと想定し、他の人に移さない行動が、自分自身はもとより家族や知人を感染から守ることにつながると考えます。

次に、生活の不安ですが、自粛が続く中での収入減については、国が大胆な政策を打ち出し、一人ひとりに寄り添った対応がされることを切に願うものです。また、長期化する中で食料やトイレトペーパー、紙おむつなどが無くなるのではないかと噂が流れています。確かに、マスクは中国からの輸入がほとんどだったため、いばらきコープにも入荷がほとんどありません。国産のマスクの生産が始まっていますが、医療従事者や福祉介護などへの供給が優先となっています。他の食料や紙類などは、十分な在庫があり心配は要りません。

そして、私たちが忘れてはならないのが、感染者への配慮の気持ちです。感染してしまった方は、感染したくてなったわけではありません。私たちも、あなたもあなたの家族もいつ感染してもおかしくありません。感染した人は、本当につらく不安も大きく、死を意識して病氣と闘っていかねばなりません。その方々に対しての、嫌悪や差別、偏見の気持ちをもってはなりません。人と人とのつながりを大切に、信頼関係を高め、絆を強め応援していくことが大切です。また、ウイルスと間近に戦っている医療従事者の方々への、感謝の気持ちを大切に、敬意を払っていきたいと思います。

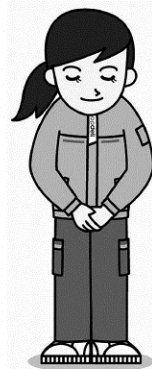
いばらきコープでは、組合員のみなさまにしっかり商品をお届け続けられるよう努力してまいります。しかし、購入いただく商品の点数を制限させていただいたり、計画的に商品を欠品にするといった対応も取らざるを得ないような状況が続くことが予想されます。ご理解いただければ幸いです。

組合員のみなさまの健康を守るために、職員の健康を守り組合員のみなさまの暮らしを支える事業を継続するために、商品を届けたり店舗で働く職員の体調管理、マスクの着用とアルコールによる消毒、手洗等を徹底してまいります。

私たちは誠実に対応していくことをお約束するとともに、県や各市町村、各行政機関ならびに、全国の生協、コープデリ連合会のみなさんとともに協力し合いながら事業を継続していく所存です。

新型コロナウイルス感染が拡大し、茨城県内の感染者も毎日のように報道されています。いばらきコープでは、組合員さんの安全と健康を守ることを第一に考え、参加とネットワークの活動を当面の間休止させていただくこととしました。ご理解とご協力よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染拡大の1日も早い終息と、組合員さんの安全と健康をお祈り申し上げます。



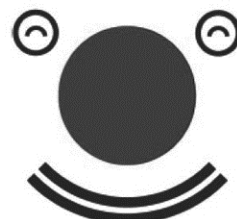
- ・ブロック委員会が発行する「ブロックニュース」の発行を当面の間休止させていただきます。
- ・「産地・工場見学」や「商品学習会」などの企画を当面の間、見合わせます。
- ・事業所の施設（組合員集会室、調理室等）の利用を当面の間、中止させていただきます。

### 2020年度消費者月間統一テーマ（毎年5月は消費者月間です）

#### 「豊かな未来へ～『もったいない』から始めよう!～」

食品ロスの削減には、一人一人の消費者が「もったいない」という考え方の下で、必要なだけ購入して食べきるという実践が大切です。消費者、事業者、行政が連携し消費を通じた豊かな未来づくりに向けて具体的な行動を起こしましょう!!

食品ロス削減国民運動ロゴマーク「ろすのん」⇒



食べものに、  
もったいないを、  
もういちど。

NO-FOODLOSS PROJECT